

資料1 第3期伊勢市環境基本計画 進行管理シート

第3期伊勢市環境基本計画					令和2年度				令和3年度				
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初 予算額 (千円)	
基本目標1 低炭素で地球にやさしい社会の構築	(1) 温室効果ガスの排出抑制	①地域と調和した再生可能エネルギーの導入促進	公共施設への太陽光発電設備等の再生可能エネルギー機器の導入	学校統合推進室	神社小学校・大湊小学校統合校整備事業	272,900	みなと小学校に20kwの太陽光発電を設置した。	272,900	決算見込額は工事請負費(電気設備工事)の総額	二見浦小学校・二見中学校に太陽光発電設備を設置する。	二見地区小中学校整備事業	127,050	
			住宅等の太陽光発電設備の設置を促進	環境課	太陽光発電普及促進事業	1,440	R1年度の繰越24件分の補助を行った。	1,440	R1年度をもって補助事業終了	太陽光発電設備のPRを行い、普及促進を図る。	-	-	
			関係法令及び三重県太陽光発電施設の適正導入に係るガイドライン等に基づく地域と調和した適正な再生可能エネルギーの導入	環境課	-	-	国・県・市が定めるガイドライン等に基づき、環境・景観に配慮し、地域と調和した適正な太陽光発電の導入を図るための指導を行った。	-	-	国・県・市が定めるガイドライン等に基づき、環境・景観に配慮し、地域と調和した適正な太陽光発電の導入を図る。	-	-	
		②環境負荷が少ないライフスタイルや事業活動への転換促進	資源ごみ売却収入	R2年度清掃課 R3年度～ごみ減量課	資源ごみ売却収入	1	回収したてんぷら油について、市内公衆浴場での焚きつけ材にかわる燃料として利用を図った。	1	-	-	・てんぷら油の回収について、広報いせや講習会の場で啓発を行う。 ・回収したてんぷら油について、市内公衆浴場での焚きつけ材にかわる燃料として利用を図る。	資源ごみ売却収入	1
			公共施設における省エネルギー効果の高い設備等への更新	資産経営課	庁舎等管理経費	10,000	車庫及び水防倉庫の照明をすべてLED化した。	7,803	-	-	-	-	-
			道路維持補修経費 交通安全施設整備事業 交通安全施設管理経費	維持課	-	11,590	道路照明施設にLED球を設置及び取替を行った。	3,679	-	-	道路照明施設にLED球を設置及び取替を行う。	・道路維持補修経費 ・交通安全施設整備事業 ・交通安全施設管理経費	13,800
		学校統合推進室	神社小学校・大湊小学校統合校整備事業	272,900	みなと小学校校舎及び体育館にLED照明を設置した。	272,900	決算見込額は工事請負費(電気設備工事)の総額	二見浦小学校・二見中学校の照明にLEDを導入する。	二見地区小中学校整備事業	127,050			
		家電等、家庭で使われる機器の購入や買替えの機会を捉え、高効率機器への選択・転換の促進	環境課	-	-	-	-	-	-	イベント等を通じて、家電製品の買い替えによるCO ₂ 削減効果を啓発する。	-	-	
		電気自動車等の普及促進	環境課	-	-	-	-	自動車メーカー等との連携によりイベント等を通じて電気自動車のPRを進めた。 イベント実施2日間 来場者 約400人	-	-	自治体として電気自動車の導入を進めるとともに、自動車メーカー等との連携によりイベント等を通じて電気自動車のPRを進める。	-	-
		省エネルギー型のライフスタイルやビジネススタイルを促進するため、省エネに関する講習会等を開催	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		公共施設における電気、燃料、用紙等の使用量の抑制	環境課	-	-	-	-	環境管理システムを運用し、市役所本庁舎・総合支所等における電気、燃料、用紙等の使用量を抑制した。	-	-	環境管理システムを運用し、市役所本庁舎・総合支所等における電気、燃料、用紙等の使用量を抑制する。	-	-
		エコドライブの普及促進	環境課	エコドライブ普及推進事業	351	ケーブルテレビ行政放送により、エコドライブの特集番組を放送し啓発した。 エコドライブ講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	0	-	-	エコドライブの普及を進めるため、JAFとの連携により講習会を開催する。	エコドライブ普及推進事業	346	
		自転車の利用機会を拡大	観光誘客課	市内周遊促進事業	5,176	レンタサイクルを購入し、拡充した。 ・電動アシスト付自転車購入台数：15台 レンタサイクルを拡充し、連動した旅行商品の造成を行った。 ・造成した旅行商品数：2種類	5,119	-	-	-	-	-	
		みえエコ通勤デーの啓発等による公共交通の利用を促進	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		③低炭素型の都市基盤づくり	「伊勢市立地適正化計画」に基づく拠点となる地域への機能集約と活性化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
連節バスを使用したBRT(バス高速輸送システム)導入等による公共交通の定時性・速達性の確保及び利用促進	交通政策課		-	-	-	R2.12.19から三重交通路線バス「外宮内宮線」で連節バス『神都ライナー』のプレ運行が開始された。	-	-	引き続き、環境面に配慮し、定時制・速達性の確保による移動利便性向上と公共交通の利用促進を図っていく。	-	-		

第3期伊勢市環境基本計画				令和2年度						令和3年度		
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)
(2) 気候変動への適応	鉄道、バス等の公共交通の利用促進			観光誘客課	市内周遊促進事業	3,476	市内バス事業者を活用した旅行商品の造成を行った。 ・造成した旅行商品数：4種類	3,476				
				交通政策課	コミュニティバス運行事業	144,522	おかげバス環状線などの運行や環状線での既存の鉄道・路線バスとの「乗継割引」の実施により、公共交通の利用促進を実施した。 【R2年度 利用者数】 ・おかげバス 56,109人 ・おかげバス環状線 42,264人 ・おかげバスデマンド（沼木デマンドを含む） 3,325人	134,699		おかげバス環状線などの運行や環状線で既存の鉄道・路線バスとの乗継割引を継続しながら公共交通の利用促進を図る。また、交通系ICカードシステムの導入による利便性向上を図り、一層の利用促進を行う。	コミュニティバス運行事業	145,908
			観光交通渋滞対策の推進	交通政策課	観光交通対策特別会計	477,071	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、初参り交通渋滞対策（パーク&バスライド等）のみ実施した。 【R2年度パーク&バスライド利用車両台数（利用者数）】 ・初参り 6,348台（18,659人）	444,760		C02削減を目的に自動車乗車時間の減少を図るため、交通渋滞対策（パーク&バスライド等）を実施する。	観光交通対策特別会計	585,199
			電気バスの利用促進	環境課	-	-	三重交通（株）が導入した電気バスを環境教育で利用することにより周知を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。	-		三重交通（株）が導入した電気バスのイベントPR、環境教育での利用などにより周知を図る。	-	-
		①熱中症予防	ホームページ等を活用した熱中症注意情報の提供	健康課	-	-	市広報、CATV、ホームページに熱中症予防に関する情報を掲載した。	-		市広報、CATV、ホームページや機関誌に熱中症予防に関する情報を掲載する。	-	-
			熱中症の症状や応急手当、予防方法等の周知・啓発	健康課	-	-	市広報、ホームページによる啓発や各課へ情報発信を行うとともに、健康課の窓口やOB会、幼児健診等にてチラシを配布した。	-		市広報、ホームページによる啓発や各課へ情報発信を行っている。また、健康課の窓口やOB会、幼児健診等にてチラシを配布する。	-	-
		②浸水対策の推進	市街地の雨水を速やかに流下させ、また、低地の浸水対策や高潮時の安全を確保するための排水施設の整備	基盤整備課	排水施設整備事業	358,788	排水路の改良やポンプ場の整備を行うことにより、浸水被害の軽減・防止を図った。 ポンプ場整備 N=1箇所 排水路改良 L=102m	249,191		排水路の改良やポンプ場の整備を行うことにより、浸水被害の軽減・防止を図る。	排水施設整備事業	102,300
				維持課	道路側溝等改良事業	362,300	老朽化した道路側溝の改良や排水処理のための側溝新設を行った。	355,254		老朽化した道路側溝の改良や排水処理のための側溝新設を行う。	道路側溝等改良事業	353,000
			河川への雨水流出を少なくするための流出抑制対策の促進	維持課	排水路維持管理経費	118,852	排水機能及び水質が良好な状態に保てるよう調整池等の維持管理を行った。	111,301		排水機能及び水質が良好な状態に保てるよう調整池等の維持管理を行う。	排水路維持管理経費	109,208
			都市ポンプ場等の長寿命化	農林水産課	排水機維持管理経費（機能更新）	105,986	船倉排水機場の保全工事を実施。東大淀排水機場及び亀池排水機場の事業計画を作成。	95,441		新田排水機場の詳細設計を実施。亀池排水機場の事業計画書を修正。	排水機維持管理経費（機能更新）	9,629
				維持課	排水機場維持管理経費（ポンプ場機能更新）	206,572	予防保全の考え方で機能更新を行うことにより効率的かつ効果的な維持管理を行った。	184,737		予防保全の考え方で機能更新を行うことにより効率的かつ効果的な維持管理を行う。	排水機場維持管理経費（ポンプ場機能更新）	129,000
				下水道建設課 下水道施設管理課	ポンプ場更新事業（補助）	168,000	吹上ポンプ場ほか3施設の更新対象設備の機能更新を行った。また、次期更新設備の設計を行った。	165,980		予防保全の考え方で機能更新を行うことにより、効率的かつ効果的な維持管理を行う。	ポンプ場更新事業（補助）	203,800
	③災害時の避難施設等の整備	災害用トイレやスロープ等の整備等、避難生活施設的环境整備	防災施設整備課	避難所等整備事業	258,350	・マンホールトイレの整備 6箇所 ・屋内運動場トイレ改修（バリアフリー化） 3箇所 ・マンホールトイレ用備蓄物資購入	209,734		・マンホールトイレの整備 8箇所 ・屋内運動場トイレ改修（バリアフリー化） 7箇所 ・マンホールトイレ用備蓄物資購入	避難所等整備事業	316,625	
		備蓄計画の見直し及び防災備蓄倉庫の整備	防災施設整備課	避難所等整備事業	3,900	・県広域拠点の共同利用の検証 ・支援物資受入拠点の機能検証 ・必要備蓄量の検証	3,430		・既存備蓄倉庫の機能検証 ・備蓄倉庫の不足解消策の検討 ・支援物資調達・供給体制の検討 ・備蓄計画の更新	避難所等整備事業	8,021	

第3期伊勢市環境基本計画					令和2年度					令和3年度			
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)	
基本目標2 資源を大切に する循環型社会の構築	(1) 3Rの推進	①発生抑制(リデュース)の推進	ごみを出さないライフスタイルの転換の検討	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	出前講座として、3Rに関する講座の開催を行った。	1,972		出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
			「食品ロス」削減に関する広報活動の推進	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	・減らそに！いせの食品ロス協議会において、「すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」を行い、食料品スーパーから出る食品ロスの削減に取り組んだ。(応募総数2,846通) ・家庭から出る食品ロスを減らすため、冷蔵庫整理術小冊子を制作し、上記キャンペーンと合わせて配布した。また冷蔵庫整理術に関する動画を制作し、Youtubeで配信した。 ・宇治山田商業高等学校と協働して食品ロスの削減に取り組んだ。	1,972		・食品ロス削減をテーマに小中学生を対象としたMOTTAINAI(もったいない)ポスターコンクールを実施する。 ・市民の食品ロス削減意識を向上するため、10月1日～31日の間、市内のスーパー事業者と「2021すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」を実施する。また、キャンペーンにおいて、食品ロスの啓発および食品ロスダイアリーアプリに関する小冊子を配布する。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
			廃棄食品の飼料化、フードバンク等の食品ループの構築等の検討										
		②再使用(リユース)の推進	プラスチックごみの排出抑制のためのマイバッグ、マイボトル等の取組推進	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	マイボトル・マイカップ持参推進に取り組むための諸調査・検討を行った。	1,972			マイボトル・マイカップ運動を推進していくための仕組みを構築し、マイボトル協力店や協力事業所の募集や、市民等へ周知啓発を行う。	MOTTAINAI推進事業	2,197
			リサイクルショップ、フリーマーケット、バザー等の利用促進										
			ぐりんくん制度(未使用に近い状態の粗大ごみ等について、排出者の承諾を得た上で希望者へ無償提供を行う制度)の拡充	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	「ドライブスルーdeぐりんくん」として、屋外でリユース家具を展示し、希望者に無償提供を行った。	1,972			「ドライブスルーdeぐりんくん」として、屋外でリユース家具を展示し、希望者に無償提供を行う。	MOTTAINAI推進事業	2,197
	③再生利用(リサイクル)の推進	生ごみ処理機を利用した生ごみの堆肥化、減量化の支援	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	ごみ減量化容器設置補助金	1,500	生ごみの減量化のため、生ごみ処理機の購入に要する経費の一部を助成した。 交付件数 100件(家庭用) ※家庭用:補助率1/2 3万円上限 ※事業所用:補助率1/2 200万円上限	1,711		生ごみの減量化のため、生ごみ処理機の購入に要する経費の一部を助成する。 ※家庭用:補助率1/2 3万円上限(本体価格2,000円以上を対象) ・処理機 ・処理容器 ※事業所用:補助率1/2 300万円上限	ごみ減量化容器設置補助金	4,400		
		雑がみの分別や「雑がみ回収袋」の作成方法、雑がみ回収によるメリット等の啓発	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	・古紙再生工場であるCOREX信栄(株)に事業系の雑がみ(禁忌品を含む)を運搬し、重量に応じたトイレットペーパーを学校等の公共施設に寄贈する「トイレの紙さま」プロジェクトに取り組んだ。(回収実績15,120kg) ・伊勢市HPやSNSを通じて雑がみ分別の啓発を行った。	1,972		・市内の小学4年生を対象に、夏休みの期間に家庭で雑がみを分別する「雑がみチャレンジ」を実施し、雑がみの分別習慣化を図る。 ・引き続き事業系の雑がみ(禁忌品を含む)を資源化し、重量に応じたトイレットペーパーと交換し公共施設に寄贈する「トイレの紙さま」プロジェクトの推進に取り組む。 ・伊勢市HPやSNSを通じて雑がみ分別の啓発を行う。	MOTTAINAI推進事業	2,197		
		自治会等による集団回収の促進	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	再生資源回収推進事業	6,200	ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付した。 交付団体数 133	3,947		ごみの減量・資源化、市民の意識向上のため、自治会や子供会などの団体が行う廃品回収に対し、回収した資源の量に応じた奨励金を交付する。	再生資源回収推進事業	5,900		
	推(2) 適正かつ効率的なごみ処理の	①分別協力度の向上	指定の分別ができていないごみの排出者に対する指導の強化	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	自治会、老人会等からの依頼により、3Rに関する講座の開催を行った。 延べ3回	1,972		出前講座として、3Rに関する講座の開催を行う。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
			事業系ごみの搬入検査等による適正排出の推進	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	ごみ減量・資源化事業一般経費	1,900	事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行った。	1,515		事業系一般廃棄物について、管外搬入がないかごみ搬入検査を行う。	ごみ減量・資源化事業一般経費	1,776	
			ごみの組成調査等による分別実態の把握	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	-	-	家庭系燃えるごみの組成調査を実施した。	-		家庭系燃えるごみの組成調査を実施する。	-	-	

第3期伊勢市環境基本計画				令和2年度						令和3年度			
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)	
	②収集方法等の効率化	家庭系ごみ収集における民間委託の拡大											
			燃えるごみ集積所設備の設置、修繕の支援	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	廃棄物集積所設置補助金	5,749	燃えるごみ集積所設置に対する補助金を交付した。 交付件数 14件	5,716		燃えるごみ集積所設置補助金。	廃棄物集積所設置補助金	9,329	
		③適正処理の推進	中間・最終処理施設の適正管理・運転										
	(3)ごみに関する啓発・協働の推進	①ごみに関する教育、学習、啓発の充実	学校等における環境教育の充実	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	小学校向けの出前授業については、新型コロナウイルス感染拡大予防により、バツカー車による収集の様子を屋外から見学する方法や、資料提供のみを行う方法などを実施した。	1,972		小学校の社会学習として、ごみの分別・3Rの推進の説明やバツカー車による収集の体験等を行う出前授業を実施する。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
			出前講座等による学習機会の提供	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	・自治会、老人会等からの依頼により、3Rに関する講座の開催を行った。(延べ3回) ・LINEの伊勢市公式アカウントでごみの分別のAIチャットボットを導入した。	1,972	講座の開催については基本目標2-(2)-①の再掲	自治会、老人会等からの依頼により、3Rに関する講座の開催を行う。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
			地域での説明会、ごみカレンダー等による啓発	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	MOTTAINAI推進事業	2,768	・減らそに！いせの食品ロス協議会において、「すぐ食べるならつれてって！キャンペーン」を行い、食料品スーパーから出る食品ロスの削減に取り組んだ。(応募総数2,846通) ・宇治山田商業高等学校と協働して食品ロスの削減に取り組んだ。	1,972	基本目標2-(1)-①の再掲	・自治会、老人会等からの依頼により、3Rに関する講座の開催を行う。 ・宇治山田商業高等学校と協働して食品ロスの削減に取り組む。 ・ごみカレンダーを全戸配布し、ごみ分別の習慣化を促進する。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
		②協働による推進	市民・地域組織、事業者、行政等がお互いに補完しあう体制の構築										
			横のつながりを意識した連携強化										
	(4)水循環の確保	①治水・利水対策の推進	雨水貯留施設(雨水タンク)の設置支援										
			市街地の雨水を速やかに流下させ、また、低地の浸水対策や高潮時の安全を確保するための排水施設の整備	基盤整備課	排水施設整備事業	358,788	排水路の改良やポンプ場の整備を行うことにより、浸水被害の軽減・防止を図った。 ポンプ場整備 N=1箇所 排水路改良 L=102m	249,191	基本目標1-(2)-②の再掲	排水路の改良やポンプ場の整備を行うことにより、浸水被害の軽減・防止を図る。	排水施設整備事業	102,300	
			維持課	道路側溝等改良事業	362,300	老朽化した道路側溝の改良や排水処理のための側溝新設を行った。	355,254	基本目標1-(2)-②の再掲	老朽化した道路側溝の改良や排水処理のための側溝新設を行う。	道路側溝等改良事業	353,000		
			維持課	排水路維持管理経費	118,852	排水機能及び水質が良好な状態に保てるよう調整池等の維持管理を行った。	111,301	基本目標1-(2)-②の再掲	排水機能及び水質が良好な状態に保てるよう調整池等の維持管理を行う。	排水路維持管理経費	109,208		
			農林水産課	排水機維持管理経費(機能更新)	105,986	船倉排水機場の保全工事を実施。東大淀排水機場及び亀池排水機場の事業計画を作成。	95,441	基本目標1-(2)-②の再掲	新田排水機場の詳細設計を実施。亀池排水機場の事業計画書を修正。	排水機維持管理経費(機能更新)	9,629		
			維持課	排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)	206,572	予防保全の考え方で機能更新を行うことにより効率的かつ効果的な維持管理を行った。	184,737	基本目標1-(2)-②の再掲	予防保全の考え方で機能更新を行うことにより効率的かつ効果的な維持管理を行う。	排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)	129,000		
			下水道建設課 下水道施設管理課	ポンプ場更新事業(補助)	168,000	吹上ポンプ場ほか3施設の更新対象設備の機能更新を行った。また、次期更新設備の設計を行った。	165,980	基本目標1-(2)-②の再掲	予防保全の考え方で機能更新を行うことにより、効率的かつ効果的な維持管理を行う。	ポンプ場更新事業(補助)	203,800		
②水源対策の推進		水源地及び配水場における水質検査の実施	上水道課	水源地維持管理事業	8,267	年間84件の水質検査を実施した。	4,878		安全で安心できる水道水の供給を行うため、水質検査を実施する	水源地維持管理事業	6,963		
	農業を営む上で必要な用水等を確保するための水源確保	農林水産課	県営事業負担金	23,121	国営宮川用水二期事業関連県営事業において、農業用水のパイプライン化を図った。	128,133		国営宮川用水二期事業関連県営事業において、農業用水のパイプライン化を図る。	県営事業負担金	51,063			

第3期伊勢市環境基本計画				令和2年度					令和3年度				
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)	
基本目標3 豊かな自然と人が共生する社会の形成	(1) 自然環境・公益的機能の保全	①水環境の保全	市内公共用水域(河川・海域)の水質調査の実施	企画調整課	宮川流域連携事業負担金	300	全国水環境マップ実行委員会及び伊勢湾再生推進会議が実施する水質チェックに参画し、4地点の水質チェックを実施	200	令和3年度の実施の予定はない。				
				環境課	調査事業	3,134	河川、幹線排水路、海域の水質汚濁状態を把握するため、水質調査を行った。 河川 調査地点15 回数4~24 幹線排水路 調査地点 7 回数4~5 海域 調査地点1 回数3	2,475		河川・海域の水質調査を行い、生活排水対策の資料とする。	調査事業	2,840	
				堤防法面の除草等、河川の良好な維持管理	維持課	河川維持補修経費	23,729	河川の良好な維持管理と安全性の確保を図るため堤防法面等の除草及び伐採を行った。	19,582		河川の良好な維持管理と安全性の確保を図るため堤防法面等の除草及び伐採を行う。	河川維持補修経費	20,467
				流域関連公共下水道事業の整備推進	下水道建設課	社会資本交付金事業(補助) 社会資本交付金事業(単独)	3,772,885	下水道整備を進め、下水道処理人口普及率は55.7%(令和元年度)から56.7%に向上した。	2,355,579		下水道事業計画区域内の整備を進め、下水道処理人口普及率の向上を図る。	社会資本交付金事業(補助) 社会資本交付金事業(単独)	4,246,406
				合併処理浄化槽の普及促進	環境課	合併処理浄化槽整備事業補助金	71,485	合併処理浄化槽設置者に対し補助し、普及に努めた。災害時における補助要件について伊勢市共同汚水処理施設修繕工事補助金交付要綱の見直しを行った。 補助交付件数 170基	35,255		合併処理浄化槽の設置に対して補助金を交付する。	合併処理浄化槽整備事業補助金	62,245
				エコッキング教室等の講習会等の開催	環境課	生活排水対策啓発事業	40	伊勢市環境会議が東邦ガス(株)と連携して親子エコ・ッキングを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	0		伊勢市環境会議が東邦ガス(株)と連携して親子エコ・ッキングを開催する。	生活排水対策啓発事業	40
				地区漁業者等による干潟保全活動の支援	農林水産課	干潟保全活動支援事業	684	地元組織により干潟保全活動を行った。	181		地元組織により干潟保全活動を行う。	干潟保全活動支援事業	338
				観光関係団体等と協力した海岸清掃の実施	観光振興課	二見ビーチ活性化事業	605	年間を通じて二見浦海水浴場施設とその周辺の環境や景観を良好な状態に保つため、定期的に清掃活動を実施した。	481	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、二見浦海水浴場を不開設とした。	年間を通じて二見浦海水浴場施設とその周辺の環境や景観を良好な状態に保つため、定期的に清掃活動を実施するとともに海水浴場開設期間前後に地域が実施する二見浦海岸清掃に協力する。	二見ビーチ活性化事業	550
			水産資源の保護に関する啓発	農林水産課	-	-	潮干狩りの禁止を広報で周知した。	-		潮干狩りの禁止を広報で周知。	-	-	
		②森林環境の保全	森林がもつ公益的機能を総合的かつ高度に発揮させるための間伐等の適正管理支援	農林水産課	森林経営管理事業	18,180	森林経営の意向調査を実施した。 意向調査:92ha 今後の森林経営管理方針の計画書を作成した。 計画書作成:5,700ha また残りを森林環境譲与税基金に積立て、計画的な運用を図った。	20,029	R2年度新規事業 左記、決算見込み額のうち積立金9,224千円	経営管理の意向調査実施と前年度経営管理の意向をいただいた箇所の境界確認を実施する。 また残りを森林環境譲与税基金に積立て、計画的な運用を図る。	森林経営管理事業	18,123	
				農林水産課	森林整備事業	5,184	防風保安林等暮らしに身近な森林づくりとして松くい虫防除を行った。 地上散布:6.05ha 樹幹注入:577本 枯松伐倒粉砕:22m ³ また残りを森林づくり基金に積立て、計画的な運用を図った。	8,974	左記、決算見込み額のうち積立金4,187千円	防風保安林等暮らしに身近な森林づくりとして松くい虫防除として地上散布、樹幹注入、枯松伐倒粉砕、松林間伐等を行う。 また残りを森林づくり基金に積立て、計画的な運用を図る。	森林整備事業	14,009	
				農林水産課	環境保全林経費	24,833	三郷山・音無山・絆の森・横輪環境保全林において、清掃、草刈り、枝打ち等を行った。	15,966	R2年度より「環境保全林整備事業」を本事業に吸収	三郷山・音無山・絆の森・横輪環境保全林において、清掃、草刈り、枝打ち等を行う。	環境保全林管理経費	17,218	
				農林水産課	森林経営管理事業 森林整備事業	-	森林環境譲与税を活用し監視課で「海の駅ウッドデッキ設置工事」とみえ森と緑の県民税を活用し、学校統合推進室で「みなと小学校の家具製作」を行い地域材を利用した公共建築物等の木造、木質化を推進した。	-		森林環境譲与税を活用し、地域材を利用した公共建築物等の木造、木質化を推進する。	森林経営管理事業	7,302	

第3期伊勢市環境基本計画				令和2年度						令和3年度				
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)		
	③農地環境の保全		担い手農家への農地集積等による遊休農地の解消	農林水産課	遊休農地活用事業	1,000	遊休農地の解消に係る費用の一部負担を行った。 交付件数3件、解消面積67a	579		遊休農地の解消に係る費用の一部負担を行う。	遊休農地活用事業	1,000		
			景観植物の植栽等による遊休農地の利用促進											
			地産地消の推進	農林水産課	地産地消推進事業	1,683	地産地消の店認定制度の展開、学校給食への市内産農水産物の活用に係る支援を行った。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地産地消の認定店交流会は実施しなかった。	1,262			地産地消の店認定制度の展開、学校給食への市内産農水産物の活用に係る支援を行う。	地産地消推進事業	2,203	
			市内産農産物のブランド化に向けた取組の支援	農林水産課	農産物ブランド化推進事業	2,989	ブランド化を推進しようとする取り組みに対して補助金を交付した。 交付件数 1件 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、県外等へのPR活動は実施しなかった。	368			市がブランド化を進めている農産物（青ねぎ、いちご、トマト、かぼちゃ、蓮台寺柿、横輪いも）について、ブランド化を推進しようとする取り組みに対して補助金支援等を行う。	農産物ブランド化推進事業	1,883	
			「伊勢市鳥獣被害防止計画」に基づく獣害に強い集落づくりの体制整備支援	農林水産課	獣害防止事業	10,590	伊勢市鳥獣被害防止計画に基づく、個体数調整、被害防除、生息環境調査等の被害防止対策を総合的に実施した。 また、地域が行っている捕獲活動や追い払い活動を支援し、地域主体の取り組みを推進した。	9,260			伊勢市鳥獣被害防止計画に基づく、個体数調整、被害防除、生息環境調査等の被害防止対策を総合的に実施する。 また、地域が行っている捕獲活動や追い払い活動を支援し、地域主体の取り組みを推進する。	獣害防止事業	10,588	
	(2) 自然との共生	①生物多様性の保全		生態系に配慮した河川等の整備	基盤整備課	河川災害復旧事業	286,625	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図った。 L=211m	216,750	台風等による災害復旧事業の中で対応。	護岸ブロックに環境保全型を使用し、植生の早期復元を図る。	河川災害復旧事業	3	
				外来生物による被害予防に関する情報提供・啓発	農林水産課	水田等環境改善事業	8,900	水稲の生産現場において被害を及ぼすスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の防除に要する費用に対して補助金を交付した。 交付件数 67件	1,919	令和2年度からの新規事業	水稲の生産現場において被害を及ぼすスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の防除に要する費用の一部負担する。	水田等環境改善事業	7,000	
					環境課							生物多様性の保全のため、池干しなどを行い外来生物の除去を行う。また、広報などにより外来生物に関する情報提供・啓発を行う。	衛生一般経費	45
				動植物の生息・生育状況に関する現況把握	環境課	-	-	市内の動植物の生息状況を把握することを目的として、採集、写真撮影により種の同定を行い、活動記録をホームページに掲載した。 いきもの調査実施回数 7回	-		企業等が実施する生物多様性活動との連携などにより身近な動植物の生息・生育状況等の環境調査を行う。また、有識者・企業との情報共有を行う。	-	-	
				生物多様性保全に関する学習機会等の提供	環境課	-	-	事業者との連携により出前講座を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	-		生物多様性保全に関する出前講座を小学校等で実施する。	-	-	
				②自然とのふれあいの増進	水生生物による水質調査等の自然とふれあえる野外環境学習の開催	環境課	-	-	伊勢市環境会議が小学生を対象に自然とふれあえる野外環境学習として、水生生物による水質調査を実施した。 実施回数1回 参加者5名	-		伊勢市環境会議が実施する水生生物による水質調査など、自然とふれあえる野外環境学習を小学生を対象として実施する。	-	-
					自然とふれあえる護岸・親水公園・里山等を整備・充実									
勢田川七タ大そうじ等の清掃・美化活動の開催	環境課	生活排水対策啓発事業	220		勢田川七タ大そうじの開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	7		勢田川七タ大そうじを開催し、沿岸自治会とともに勢田川沿岸を清掃する。	生活排水対策啓発事業	220				
伊勢志摩国立公園の観光資源としての利活用	観光振興課	観光一般経費	1,253		負担金を拠出している国立公園関係の団体を通して、自然観察会や体験型アクティビティの実施、またそれに係る情報発信を各市町と連携して行った。	1,233		負担金を拠出する国立公園関係の団体を通して、自然観察会や体験型アクティビティの実施、またそれに係る情報発信を各市町と連携して行う。	観光一般経費（観光振興課分）	1,248				

第3期伊勢市環境基本計画					令和2年度					令和3年度		
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)
基本目標4 歴史・文化の薫る、快適に暮らせるまちの形成	(1) 快適で美しい住環境の保全	①住環境の向上	事業活動に伴う騒音等の適正管理	環境課	-	-	騒音規制法等に基づき騒音苦情等に対して適切な指導を行った。	-		騒音規制法等に基づき基準値を超える騒音等があれば適切な調査・指導を行う。	-	-
			騒音等に関する環境基準に基づく指導・啓発	環境課	調査事業	1,015	騒音規制法等に基づく届出の受理。騒音・振動・悪臭等について調査し現状把握を行った。 調査地点 騒音8、振動1、臭気1	637		騒音規制法等に基づく届出の受理。伊勢市内の自動車騒音や環境騒音・振動、悪臭の環境測定を実施し、施策の基礎資料とする。	調査事業	966
			電気自動車等の普及促進	環境課	-	-	自動車メーカー等との連携によりイベント等を通じて電気自動車のPRを進めた。 イベント実施2日間 来場者 約400人	-	基本目標1-(1)-②の再掲	自治体として電気自動車の導入を進めるとともに、イベント等を通じて電気自動車のPRを進める。	-	-
			「伊勢市空家等対策計画」に基づく空家等に関する対策の推進	住宅政策課	空家等対策事業	20,001	空家バンク制度を通じて5件の契約が成約したほか、木造で耐震性のない空家103件、老朽化して危険な空家4件の除却について補助金を交付した。 また、空家実態調査を実施した。	17,479		空家バンク等の各種制度も活用しながら、空家所有者等に適正な管理を求めていく。また、第2期伊勢市空家等対策計画を策定する。	空家等対策事業	17,828
		②美しく潤いのある空間づくり	「伊勢市ポイ捨て及び路上喫煙の防止に関する条例」に基づく空き缶やたばこの吸い殻のポイ捨て防止対策等の快適な環境づくりの実施	R2年度 清掃課	きれいなまちづくり推進事業	323	・令和2年8月から開始となった「路上喫煙禁止区域」について、周知のための看板等の設置を行った。 ①伊勢市駅・宇治山田駅前周辺エリア 10基 ②内宮周辺エリア 11基 ・路上喫煙禁止区域のスタートに合わせた、啓発イベントを実施した。 ・路上喫煙パトロールを実施した。 ・伊勢市路上喫煙対策審議会	182		・路上喫煙パトロール・啓発活動の実施 ・伊勢市路上喫煙対策審議会	きれいなまちづくり推進事業	938
				R3年度～ ごみ減量課								
				R2年度 清掃課	不法投棄防止対策推進事業	794	不法投棄防止パトロールを実施した。	648		不法投棄防止パトロールの実施	不法投棄防止対策推進事業	769
				R3年度～ ごみ減量課								
				環境課	狂犬病予防事業	1,569	動物愛護週間時に広報いせやケーブルテレビを活用し、ペットの飼い方マナーを啓発した。	1,268		狂犬病予防注射案内時および動物愛護週間時の広報いせを活用したペットの飼い方マナーを啓発する。	狂犬病予防事業	1,529
				環境課	犬猫不妊手術費等補助金	2,450	不妊手術費等の一部助成を行った。 補助金交付件数 犬221頭、猫594匹	2,590		犬や猫の適正な飼育を図るため、犬猫不妊去勢手術を行った飼い主に助成金を交付する。	犬猫不妊手術費等補助金	2,450
				維持課	都市施設維持管理経費	161,590	公園緑地を適切に維持管理するため、修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行った。	147,045		公園緑地を適切に維持管理するため、修繕、清掃、除草、剪定、消毒等を行う。	都市施設維持管理経費(維持課)	167,075
				環境課	衛生一般経費	88		0	対応が必要な案件なし		公共の場所に放置された放置自動車に関し、警告・移動・撤去等を行う。	衛生一般費
		交通政策課	駐輪場管理事業			11,427	駅周辺の駐輪場の管理、放置自転車等の撤去、処分を実施した。 【R2年度撤去台数】455台	10,480		駅周辺の駐輪場の管理、放置自転車等の撤去、処分を実施する。	駐輪場管理事業	10,898
		維持課	-			-	道路・公園・水路等維持課が管理する施設にある放置自転車の撤去を行った。	-		道路・公園・水路等維持課が管理する施設にある放置自転車の撤去を行う。	-	-
		都市計画課	交通施設バリアフリー化事業	65,039	五十鈴川駅におけるバリアフリー化設備等整備事業を行う鉄道事業者に対し、補助金を交付した。	58,133						
				維持課	都市施設維持管理経費	24,914	公共トイレを適切に維持管理するため、修繕、清掃を行った。	24,742		公共トイレを適切に維持管理するため、修繕、清掃を行う。	都市施設維持管理経費(維持課)	15,735
		③バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進	公共空間・公共施設のバリアフリー化設備等の整備推進	基盤整備課	中心市街地活性化整備事業	169,292	歩道に点字ブロックを整備し、視覚障がい者も利用し易い環境を整えた。 A=92㎡	3,161		歩道に点字ブロックを整備し、視覚障がい者も利用し易い環境を整える	中心市街地活性化整備事業(都市構造補助金)	3,350
				基盤整備課	八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業	106,276	ユニバーサルデザインに配慮した歩道を新設した。 L=172m	88,605		ユニバーサルデザインに配慮した公園を整備する	公園整備事業	59,246
		公共施設におけるユニバーサルデザインに配慮した設計の実施										

第3期伊勢市環境基本計画				令和2年度					令和3年度				
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)	
			障がい者サポーター制度等のソフト事業の実施	R2年度 障がい福祉課 R3年度～ 福祉生活 相談センター	障がい者サポーター事業	9,575	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年3回程度で実施を計画している講演会・研修会は開催せず、地域や学校等、小規模な研修会を実施した。 ・ 出前研修会 5か所 ステップアップ講座 2回 小学校への出前講座 6校 ・ 障がい者サポーター登録者数 45人 (累計 1,311人) ・ 障がい者サポート企業・団体登録数 0企業・団体 (累計 28企業・団体) ・ キッズサポーター登録者数 215人 (累計 1,294人)	6,154		これまで障がいについて知る機会がなかったり、障がいのある人と接する機会がなかった市民等に、多様な障がい特性、障がいのある人が困っていることや障がいのある人への必要な配慮などを理解してもらうため、障がい者サポーター研修会等を開催する。	障がい者サポーター事業	6,470	
			観光バリアフリー情報の発信	観光振興課	バリアフリー観光向上事業	1,008	ウェブサイトの情報更新、新しいバリアフリーマップの印刷、「伊勢おもてなしヘルパー」の事業運営（PR・視察対応・調査等）を行った。	801	「伊勢おもてなしヘルパー」の車椅子参拝サポートのサービス提供は、コロナ禍のため休止した。	バリアフリー観光情報を発信するウェブサイトの情報更新、バリアフリーマップの増刷等を行う。また、神宮内宮での車椅子参拝者のサポート等を行う取組「伊勢おもてなしヘルパー」の事業運営（PR含む）を行う。	バリアフリー観光向上事業	879	
	（2） 歴史的・文化的環境の保全	①伊勢の環境文化の保全	歴史的・文化的資産の保存・継承	R2年度 文化振興課 R3年度～ 文化政策課	文化財維持管理経費	4,887	【宮川堤】 宮川堤桜樹再生プロジェクトによって樹勢が弱まった桜樹4本に対して樹勢回復処置を実施した。 【臥竜梅】 市指定天然記念物臥竜梅を含む計25本の梅に対して樹勢回復作業を実施した。 【オヤネザクラ】 市指定天然記念物オヤネザクラ1本の樹勢を回復させるため、土壌改良作業を実施した。	5,185		史跡・名勝の適切な維持管理に努め、天然記念物の樹勢回復作業などを進めるための作業を実施する。	文化財維持管理経費	4,589	
			伊勢の環境と暮らし等に関する学習機会の提供										
			地産地消や食育を通じた食文化の継承	学校教育課	食育推進事業	1,016	委託校において、地域の自然や文化、農業、食料の大切さ等について子どもたちの理解が深まるよう、地域の生産者等と連携した取組を行った。	373	学校給食においても地産地消を推進し、また、郷土食や行事食を取り入れて食文化の継承に努めている。	食育推進のための学校における食に関する指導の充実を支援する。	食育推進事業	999	
				健康課	食生活改善推進事業	5	地元食材、季節の食材を使ったヘルスマイト料理講座を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	0		地元食材、季節の食材を使ったヘルスマイト料理講座を開催する。	食生活改善推進事業	21	
			伊勢志摩国立公園の自然保護の推進	観光振興課	観光一般経費	1,253	浜掃除2校、河川掃除1校	-		負担金を拠出する国立公園関係の団体を通して、域内の清掃活動の実施等を行う。	観光一般経費 (観光振興課分)	1,248	
			②良好な景観の形成	住民参加型の景観保全活動の推進	都市計画課	景観形成推進事業	202	景観形成の意識啓発を図るため、景観コンクールを実施した。 応募総数 絵画196点、写真62点	192		景観形成の意識啓発を図るため、景観コンクールを実施する	景観形成推進事業	279
				「伊勢市景観計画」の推進	都市計画課	景観形成推進事業	13,000	良好な景観形成を推進するため、重点地区については、助成基準に適合した事業に対し補助金を交付した。 交付件数 9件	10,141		良好な景観形成を推進するため、重点地区については、助成基準に適合した事業に対し補助金を交付する。	景観形成推進事業	11,000
			電線類の地中化の推進										
		③伊勢の環境文化を伝えるおもてなし	市民参加による「花のあるまちづくり」の推進	維持課	都市施設維持管理経費	4,890	市民参加による「花のまちづくり」を推進するため、市民団体が行う公共用地花壇等の植栽に支援を行った。	4,373		市民参加による「花のまちづくり」を推進するため、市民団体が行う公共用地花壇等の植栽に支援を行う。	都市施設維持管理経費 (維持課)	5,090	
			まちなかにおける緑化の推進										
			路上喫煙を禁止する区域の検討	R2年度 清掃課 R3年度～ ごみ減量課	きれいなまちづくり推進事業	323	伊勢市路上喫煙対策審議会	182		伊勢市路上喫煙対策審議会	きれいなまちづくり推進事業	938	
			地域ならではの特色を持つさまざまな自然や生活文化、食等の資源の発掘、発信										

第3期伊勢市環境基本計画				令和2年度					令和3年度				
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)	
基本目標5 環境安全に取り組みするための基盤づくり	(1) 環境教育・環境学習の充実	①環境教育・学習の充実	環境問題やその対策について考える機会の充実	環境課	環境フェア等開催事業	1,327	伊勢市の環境問題や対策について啓発・情報発信等を行うため、環境フェアの開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	0		環境フェア等を開催し、伊勢市の環境問題や対策について啓発・情報発信等を行う。	環境フェア等開催事業	1,234	
				R2年度 清掃課	きれいなまちづくり推進事業	323	「伊勢市環境会議」の主催で、食品ロスの削減及び3Rの推進を目的に、市内小中学校を対象に「MOTTAINAI推進ポスター」の募集を行った。(応募総数198作品 入賞51作品)	182		・食品ロスの削減、3Rの推進をテーマに、MOTTAINAIポスターコンクールを実施する。 ・雑がみチャレンジ参加校へトイレトパーパー寄贈する。	きれいなまちづくり推進事業	938	
				R3年度～ ごみ減量課									
				学校教育課	-	-	・全小中学校による学校環境デーを中心に学校や地域の状況に応じた特色ある取組(外部講師招聘・企業連携・校外学習等の取組等)を予定していた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため可能な範囲で実施した。 ・リサイクル活動のためのアルミ缶回収の実施をした。 ・省エネルギーの取組(節電・節水の推奨、緑化運動、太陽光発電)をした。	-		・全小中学校による学校環境デーを中心に学校や地域の状況に応じた特色ある環境教育・環境安全に関する取組 ・リサイクル活動のためのアルミ缶回収の実施 ・省エネルギーの取組(節電・節水の推奨、緑化運動、太陽光発電)	-	-	
				学校教育課	-	-	浜掃除2校、河川掃除1校	-		学校、地域ごとの浜掃除、河川掃除、河川観察の実施	-	-	
				環境課	環境教育推進事業	300	持続可能な社会づくりに貢献する人材育成のため、大学と連携し、環境教育の出前講座等を実施した。 高等学校2校 7クラス	300	市内小学校への出前講座は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止とした。	民間事業者・大学等と連携し、小中学生を対象に出前講座等を実施する。	環境教育推進事業	300	
				R2年度 清掃課	きれいなまちづくり推進事業	323	市内の幼稚園・保育園を対象に、紙芝居や劇によるごみの分別・3Rの推進の環境出前講座を実施した。(延べ10回、新型コロナウイルス感染拡大予防のため一部自粛)	182		市内の幼稚園・保育園を対象に、紙芝居や劇によるごみの分別・3Rの推進の環境出前講座を実施する。	きれいなまちづくり推進事業	938	
				R3年度～ ごみ減量課									
				R2年度 清掃課	MOTTAINAI推進事業	2,768	小学校向けの出前授業については、新型コロナウイルス感染拡大予防により、バツカー車による収集の様子を屋外から見学する方法や、資料提供のみを行う方法などを実施した。	1,972	基本目標2-(3)-①の再掲	小学校の社会学習として、ごみの分別・3Rの推進の説明やバツカー車による収集の体験等を行う出前授業を実施する。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
				R3年度～ ごみ減量課									
				環境課	-	-	市が実施したいきもの調査の結果をホームページで情報発信した。	-		市のホームページや広報いせを活用し、水質調査データ等の情報発信を行う。	-	-	
				R2年度 清掃課	MOTTAINAI推進事業	2,768	・Facebook、Instagramのアカウントを開設し、市HP・広報いせ・SNS等と合わせた積極的な情報発信を行った。 ・LINEの伊勢市公式アカウントでごみの分別のAIチャットボットを導入した。	1,972	AIチャットボットについては基本目標2-(3)-①の再掲	・市HP・広報いせやSNS等(Facebook、Instagram)を活用し、積極的な情報発信を行う。 ・LINEの伊勢市公式アカウントで祝日のごみの回収情報や、食品ロスキャンペーン等の情報を配信する。	MOTTAINAI推進事業	2,197	
				R3年度～ ごみ減量課									
				環境課	-	-	県内の公的機関、NPO等が実施する出前講座等の情報を学校へ提供するために取りまとめを行った。	-		新たな連携先を創出し、環境教育プログラムの充実を図る。	-	-	
				学校教育課	-	-	全小中学校による学校環境デーを中心に学校や地域の状況に応じた特色ある取組(外部講師招聘・企業連携・校外学習等の取組等)を予定していた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため可能な範囲で実施した。	-	基本目標5-(1)-①の再掲	全小中学校による学校環境デーを中心に学校や地域の状況に応じた特色ある環境教育・環境安全に関する取組	-	-	
農林水産課	水産教室実施事業 農業体験学習事業	270 1,182	・水産教室を実施。(新型コロナウイルス感染症の影響により6校中4校中止) ・蓮台寺柿、横輪いも、青ねぎの食育体験を実施した。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、食育体験(水稲)は実施しなかった。	57 185		水産教室を実施。 食育体験を実施。	水産教室実施事業 農業体験学習事業	270 1,799					
環境課	-	-	環境教育プログラムの充実を図るため、新たな連携先の掘り起こしを行った。	-		新たな連携先を創出し、環境教育プログラムの充実を図る。	-	-					
環境課	-	-	県内の公的機関、NPO等が実施する出前講座等の情報を学校へ提供するために取りまとめを行った。	-		環境教育・環境学習を実施する個人・団体を小中学校に情報提供し、学校での環境学習を呼びかける。	-	-					

第3期伊勢市環境基本計画				令和2年度						令和3年度			
基本目標	施策の方向性	施策	主な取組	担当課	事業名	予算額 (千円)	取組実績	決算見込額 (千円)	備考	取組内容	事業名	当初予算額 (千円)	
	(2) 環境保全活動の促進	①市民・団体による環境保全活動の促進	市民による自主的な環境配慮活動の促進	環境課	-	-	民間事業者と連携してキッズIS014000プログラムの実施を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	-		家庭における環境に配慮した生活の実践をめざし、民間事業者と連携し、小学生を対象にキッズIS014000プログラムを実施する。	-	-	
				環境課					広報やケーブルテレビ等により、家庭で実践できる環境配慮活動の啓発を行う。	-	-		
			環境課						自治会等が実施する生物多様性活動や清掃活動等に参加・協力し、自主的な環境保全活動を促進する。	-	-		
		②事業者による環境保全活動の促進	事業者が実施する生物多様性活動や清掃活動との連携・支援	環境課							民間事業者が実施する生物多様性活動や清掃活動等に参加・協力し、地域活動等への協力を推進する。	-	-
		③市民・事業者・行政の連携・協働	伊勢市環境会議等の協働事業の推進	環境課	生活排水対策啓発事業 衛生一般経費	420	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進した。	325			伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進する。	生活排水対策啓発事業、衛生一般経費	420
				R2年度 清掃課	きれいなまちづくり 推進事業	323	伊勢市環境会議に、環境啓発に係る事業実施のための負担金を支出し、活動を推進した。	182			食品ロスの削減、3Rの推進をテーマに、MOTTAINAIポスターコンクールを実施する。	きれいなまちづくり 推進事業	938
				R3年度～ ごみ減量課									
			各主体間の情報共有・連携の促進	環境課	環境フェア等開催事業	1,327	伊勢市の環境問題や対策について啓発・情報発信等を行うため、環境フェアの開催を予定したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	0	基本目標5-(1)-①の再掲	環境フェア等において、市内の環境団体・事業者等の取り組みの紹介や啓発活動を行う。	環境フェア等開催事業	1,234	